

市議会だより

12月定例会

平成30('18)年2月1日発行



12月22日(金)鴨川保育所の子どもたち(3、4歳児)が、
保育所近くの畑で種まきした大根を収穫しました。寒さも忘れ、
みんながどろんこになってがんばりました。

主な内容

- ◎議長・副議長選挙結果
一部事務組合の構成
各委員会の紹介
2～3ページ
- ◎議案審議と採決結果
4～6ページ
- ◎一般質問(17人)
6～14ページ
- ◎委員会報告
15ページ
- ◎議会報告会の開催結果
(講演・意見交換会)
編集後記ほか
16ページ

◆ 12月定例会日程 ◆

- | | |
|--------|---|
| 12月 8日 | 開会、市長の行政報告、委員会の委員長報告、議長
長の選挙、副議長選挙、常任委員会委員の選任、
議会運営委員会委員の選任、議会だより編集委員
会委員の選任、一部事務組合議会議員の選挙、市
長提出議案の上程及び説明、市長提出議案の質疑
及び委員会付託、市長提出議案の質疑・討論及び
表決 |
| 13日 | 総務常任委員会 |
| 14日 | 民生経済常任委員会 |
| 15日 | 建設文教常任委員会 |
| 18日 | 一般質問(渡邊・保坂・岩崎・岡野・江森) |
| 19日 | 一般質問(新井・岡安・相馬・糸井・佐藤正)
市長追加提出議案の上程及び説明 |
| 20日 | 一般質問(星野・新島・島村・加藤・仲又) |
| 21日 | 一般質問(新妻・北村) |
| 25日 | 市長提出議案の委員長報告・質疑・討論及び表決、
市長提出議案の質疑・討論及び表決、市長追加提
出議案の質疑・討論及び表決、市長追加提出議案
の上程・説明及び表決、議員提出議案の上程・説
明・質疑・討論及び表決、閉会 |

議長 佐藤 洋氏 副議長 糸井 政樹氏 を 選 出



12月定例会初日の8日に市川幸三議長及び仲又清美副議長が辞職したことに伴い、議長及び副議長の選挙が行われました。

投票の結果、議長に佐藤洋議員、副議長に糸井政樹議員が当選しました。選挙の結果は、次のとおりです。

議長選挙

佐藤 洋 15票
佐藤 正広 2票
(無効投票2票)

副議長選挙

糸井 政樹 15票
星野 充生 2票
(無効投票2票)

就任のごあいさつ

市民の皆様には、日ごろより市政並びに市議会に對しまして温かいご理解とご協力を賜わり、厚くお礼申し上げます。

私たちは、昨年12月議会において、議員各位からのご推挙をいただき、歴史と伝統ある桶川市議会の議長、副議長という重責を担うこととなりました。微力ながら円滑な議会運営と市政発展のため先頭となって全力で頑張っていくことをお誓い

申し上げます。
二元代表制の一翼を担う市議会は、行政運営の監視にとどまらず、市民の皆様の代弁者として、市長や執行機関の提案に對して、それをチェックし、発言をしていくような機能を充実していくことが責任であり、使命であると思っております。

さて、いよいよ今年5月の新庁舎開庁後の議会で、私たち議員は新しい議場に臨むことになりました。新しい議場では、議場の映像を配信することも行います。

常に市民の皆様との視線が私たちに向いているということをしっかりと自覚しながら、言論の府となる市議会をつくってまいりたいと思います。

歴代の議長、副議長が築き上げられた伝統の上に、志を新たに公正で円滑な議会の運営、政策立案能力の育成に努め、議会の更なる改革を推進し、信頼される開かれた議会を目指してまいります。

皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。

一部事務組合議会議員の構成

上尾、桶川、伊奈 衛生組合議会	桶川北本 水道企業団議会	埼玉県中央広域 事務組合議会	埼玉中部資源 循環組合議会
岡安 政彦	星野 充生	渡邊 光子	江森 誠一
佐藤 正広	佐藤 洋	岡野千枝子	加藤ただし
新島 光明	相馬 正人	新井 孝雄	岩崎 隆志
糸井 政樹	保坂 輝雄	市川 幸三	
仲又 清美	島村美貴子		

各常任委員会、議会運営委員会、議会だより編集委員会の各委員の選任や、上尾、桶川、伊奈衛生組合議会、桶川北本水道企業団議会、埼玉県中央広域事務組合議会、埼玉中部資源循環組合議会の各議員選挙が行われ、その結果は次のとおりです。

改選後の会派は、次のとおりです。
(太字は代表者)

《新風クラブ21》

江森 誠一 佐藤 洋
新島 光明 島村美貴子
新井 孝雄 新妻 亮

《新政会》

糸井 政樹 岡野千枝子
岡安 政彦 相馬 正人
加藤ただし 市川 幸三

《公明党》

仲又 清美 保坂 輝雄
岩崎 隆志

《日本共産党》

佐藤 正広 星野 充生

《無会派》

北村 文子 渡邊 光子



各委員会の委員が

決まりました

12月定例会において、総務常任委員会、民生経済常任委員会、建設文教常任委員会、議会運営委員会、議会だより編集委員会の各委員が選任されましたので、紹介します。

任期は、平成31年12月までの2年間です。

◎委員長

○副委員長



総務常任委員会

後列左から
佐藤 正広 糸井 政樹 仲又 清美
前列左から
江森 誠一 ◎相馬 正人 ○新井 孝雄



建設文教常任委員会

後列左から
加藤ただし 佐藤 洋 北村 文子 新妻 亮
前列左から
渡邊 光子 ◎岩崎 隆志 ○岡野千枝子



民生経済常任委員会

後列左から
岡安 政彦 星野 充生 市川 幸三
前列左から
島村美貴子 ◎新島 光明 ○保坂 輝雄



議会だより編集委員会

後列左から
北村 文子 新妻 亮 加藤ただし 岩崎 隆志
前列左から
星野 充生 ◎島村美貴子 ○岡安 政彦 佐藤 洋



議会運営委員会

後列左から
市川 幸三 佐藤 正広 岡野千枝子 新井 孝雄
前列左から
新妻 亮 ◎仲又 清美 ○江森 誠一

12月定例会 議案審議

平成29年12月定例会は、12月8日から12月25日まで18日間開催されました。市長提出議案20件、議員提出議案1件が提案され、審議されました。

補正予算

年度途中において制度改正等のあるものや、事業の進捗により必要なもので、主な質疑は次のとおりです。

問

経済的理由により就学が困難な小中学校就学前の児童生徒の保護者の方に、学用品費を入学前に支給できる制度が始まるが、対象人数の内訳について伺う。

答

小学校1年生は48名、中学校1年生は70名と見込んでいます。

問

駅東口エレベーター設置完了はいつ頃を予定しているのか。

答

市民の皆様の利便性を高めるために最短での設置、早ければ30年度末を目指して設置をしていきたいと考えています。

問

駅東口事業債の

借入れ先に関してある程度検討しているのか、今の段階を伺う。

答

起債の借り入れについては、先に手続をするのではなく、事業が終わってから借り入れの手続になります。30年度中に事業完了予定ですので、現段階ではまだ決まっています。

問

新庁舎竣工記念式典事業190万円は、どんなことを考えているのか。

答

記念式典については、現段階では平成30年4月21日の土曜日に実施予定です。内容は、まず前段でオープニングの出し物、次に近隣市町を参考に記念式典をとり行い、最後に郷土芸能披露等を行い、その後の午前中は式典参加者への内覧会等を行い、また午後は、広く市民の方に対して内覧会を行う予定

条例等

定です。

各常任委員会に付託された条例等の審査の際の質疑について、主なものは次のとおりです。

財産の取得について（議会の議決に付すべき契約）

《議場映像音響備品の売買契約》

【契約金額】

1,728万円

問

カメラを増やすということはできるのか。

答

現在議場以外の部分の全員協議会室、委員会室に別にカメラを設置できないかというところで検討しています。

問

仮設庁舎の音響設備の中で、流用できる設備があるのか。

答

仮設庁舎で使用している音響設備については、全員協議会

室に移設工事をして、全て使用します。

《新庁舎什器（じゅうき）備品の売買契約》

【契約金額】

1億8,111万6,000円

問

現施設のもので再利用できるものはどの程度あるのか。

答

新庁舎はユニバーサルレイアウトで計画されており、基本的には現在の備品は持っています。

残った備品は、既存什器の取扱方針により、再利用について検討しますが、他の公共施設に移管する、将来の予備としての保管対応、公共を目的とした他の団体への譲与の形を想定しています。

問

備品台帳の管理がずさんだといった話もあるが、新しく買ったものの、廃棄したものについて、これを機に整理をきちんとする必要があると思う。

答

どのような考え方でいるのか。

答

台帳については、過去に管理のご指摘をいただいたところがあり、適正な管理をしていくことを心がけてきています。紙ベース台帳では、確認漏れ等ミスが発生してしまう恐れがあることから、システム化を今回行ったところで、新庁舎においても、備品台帳システムを適正に管理してまいります。

問

※市民の理解を得られないなどを理由に反対討論がありました。賛成多数で可決となりました。

答

桶川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

問

国民健康保険税の基礎課税額、後期高齢者支援金等課税額及び介護納付金課税額に係る税財源を確保するためのものです。

答

問

今回の改正による対象人員、税収額の見込み等を伺う。

答

今回の改正では、約200世帯に影響が出ると試算しています。

増収見込み額は1,270万円を想定しています。

問

これまで据え置いていた保険税を、今回上げる理由を改めて伺う。

答

※法定限度額が3年連続引き上げられ、市の課税限度額との差が拡大したこと、近隣でも上尾・北本・鴻巣が平成29年度から85万円に引き上げていることから、その時期にきていると判断したものです。

問

※地方税法上の国保税の賦課上限額。

答

問

桶川市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

答

主任介護支援専門員が継続的に知識、技術等の向上に努め、さらなる資質向上を図るために更新制を導入するためのものです。

問

主任介護支援専門員の人数に関し、4つの地域包括支援センターと、それ以外の事業所について伺う。

答

答 地域包括支援センター内に6名、その他市内の事業所に13名、合計で19名の方がいます。

桶川市都市計画公園条例の一部を改正する条例

城山公園のバーベキュー広場整備に伴い、施設エリアを有料の公園施設とし、使用料を徴することについて必要な事項等を定めるためのものです。

問 有料施設の1区画当たりの平均使用面積、想定する人数の限度、有料エリアと無料エリアの違い、それぞれの水場と調理場の違いを伺う。

答 有料施設エリアの1区画当たりの面積は、1区画200㎡程度（8区画）です。備えつけのテーブル、椅子は、6人から8人程度の利用を考慮しており、貸し出しのテーブル、椅子も含め、1区画当たり15人程度の利用を想定しています。有料エリアの施設は、固

定式のかまど、テーブルと椅子を設置します。手ぶらバーベキューを想定し、1区画1日300円の有料施設とし、予約制を想定しています。無料エリアは、コンロ等も含め持ち込みを想定し、現行のバーベキュー広場と同様にご利用いただくことを考えています。

問 ごみは持ち帰りを基本にするのか、それとも施設内で処理をするのか。

答 基本的には、持ち帰っていただく方針です。しかし、有料施設エリアは手ぶらバーベキューも想定していますので、例えばテーブルにごみを置いていってもらう事も考えています。ごみの回収は、今後も検討していきます。

問 1日300円は安過ぎる。ありとあらゆるケースを考えてもう一回きちんと丁寧に考え直すべきではないか。

答 まずは、1日300円でスタートして、利用者の声を聞いていきたいと考えています。※計画の検討が不十分などを理由に反対討論がありました。賛成多数で可決となりました。

答 次の議案は本会議において全体審議され、審査の際の質疑について、主なものは次のとおりです。

桶川市子ども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例

こども医療費の対象年齢を拡大し、満18歳までに引き上げることや、支給要件等の明確化のために改正するものです。

問 対象年齢の拡大について、予算としてどの程度の影響があるのか伺う。

答 対象人数は、1,800人くらいと推測しています。また、来年度以降必要になると思われる扶助費への影響ということで、年間で約2,500万円

程度と積算しています。

問 桶川に魅力があるなど思うような広報周知がしていただけるのか、伺う。

答 桶川市の特徴を今後も探しながら、市外にアピールすることを進めていければと考えています。

次の議案は追加提案された議案です。

桶川市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

人事院勧告等を踏まえ、職員の給料を平均0.2%、勤勉手当を0.1月分それぞれ引き上げる改定をするものです。

委員会（議員）提出議案

議会は、1件の意見書を可決し、国会および関係機関に提出しました。

義務教育における保護者負担の軽減を求める意見書

教育は子どもが人間らしく生きていくための重要な権利であり、家庭の経済力にかかわらず、すべての子どもたちに豊かに保障される必要がある。

（中略）

わが国の憲法は義務教育無償を定めているが、国の制度で無償なのは授業料と教科書だけで、保護者の負担は給食費や教材、制服、かばん、修学旅行、学用品、部活動など公立小学生で年平均約10万2,000円、公立中学生で同約16万7,000円にのぼっている。（文部科学省調べ）

また、「子どもの貧困」が深刻化するなかで、低所得世帯の子どもに、義務教育期間中の給食費や学用品代、修学旅行費などを支給する就学援助制度の役割がますます大きくなっているにもかかわらず、政府が制度への国庫負担を廃止したことで、

各地で就学援助の縮小が引き起こされている。よって、政府においては憲法第26条の主旨に沿って義務教育費の軽減を目指す立場から次の施策を講じるよう強く要望する。

1 義務教育無償の原則に基づき、保護者の経済に左右されることのないように義務教育期間中の教育費負担を軽減すること。

2 就学援助制度に対する国庫負担制度を元に戻し、対象を生活保護基準に上乘せし、支給額も見直しするとともに、教育扶助の額も同様に見直しすること。

人事関係

教育委員会委員を同意

秋山 節子 氏

固定資産評価審査委員会委員を同意

池田 富至 氏

監査委員を同意

加藤 正志 氏

採決結果／一般質問

一般質問の内容については、議員本人が編集したものです。

12月定例会で審議された議案とその結果

◆次の議案は全会一致で可決・同意されました。

議案番号	議 案 名	議案番号	議 案 名
第54号	平成29年度桶川市介護保険特別会計補正予算（第2回）	第66号	平成29年度桶川市国民健康保険特別会計補正予算（第2回）
第55号	専決処分承認を求めることについて（平成29年度桶川市一般会計補正予算（第3回））	第67号	平成29年度桶川市公共下水道事業特別会計補正予算（第2回）
第57号	桶川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	第68号	平成29年度桶川市介護保険特別会計補正予算（第3回）
第59号	桶川市ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	第69号	平成29年度桶川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2回）
第60号	桶川市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	第70号	教育委員会委員の任命について（秋山節子氏）
第62号	財産の取得について（議場映像音響備品）	第71号	固定資産評価審査委員会委員の選任について（池田富至氏）
第64号	桶川市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	委第5号	義務教育における保護者負担の軽減を求める意見書
第65号	平成29年度桶川市一般会計補正予算（第5回）		

◆賛否が分かれた議案は次のとおりです。

○は賛成 ×は反対 ーは棄権 ※議長は採決に加わりません

議案番号	議 案 名	議決結果	新風クラブ21						新政会				公明党			日本共産党	無党派			
			江森 誠一	佐藤 洋	新島 光明	島村美貴子	新井 孝雄	新妻 亮	糸井 政樹	岡野千枝子	岡安 政彦	相馬 正人	加藤ただし	市川 幸三	仲又 清美	保坂 輝雄	岩崎 隆志	佐藤 正広	星野 充生	北村 文子
第53号	平成29年度桶川市一般会計補正予算（第4回）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
第56号	桶川市税条例等の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○
第58号	桶川市子ども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
第61号	桶川市都市公園条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○
第63号	財産の取得について（新庁舎什器備品）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○
第72号	監査委員の選任について（加藤正志氏）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

遺児手当等について 桶川市遺児手当・公務員（給与に含む）

渡邊 光子

複合式

問 桶川市遺児手当
支給条例（目的）

「この条例は父、母又は父母が共に死亡している世帯の、これらの児童の生活の向上と福祉の増進を図ることを目的として、その保護者に遺児手当を支給する」とある。昭和45年3月条例制定時の支給額は遺児一人当たり月額千円（公務員の子、一人当たりへの扶養手当月額千円）。昭和51年に遺児一人当たり月額2千円に改正（公務員の子一人当たりの扶養手当月額2千円）。その後「大学へ通う子どもが多くなつた」と言う理由で平成4年には公務員が扶養する子どもへの扶養手当は大学を卒業する年齢の22歳になった最初の3月末日まで改正され支給する。また桶川市遺児手当は平成2年に18歳まで、平成18年には20歳までを

童とする民法の捉え方で支給年齢を20歳まで引上げられた。しかし、公務員が扶養する子どもへの扶養手当（遺児含む）の支給額は大幅に引き上げられ、高校、大学に行く親負担を軽くするためと言う理由で22歳まで5千円が加算される。

桶川市遺児手当の支給額は一人当たり昭和51年の2千円のままで。昨今、子供の貧困がニュースになる。桶川市遺児手当の支給を公務員と同じにすることで「子供の貧困対策推進」と、公務員と一般市民との公正公平にもつながり、一石二鳥と言える。桶川市遺児手当の支給額と支給年齢の引き上げを伺う。

答

公務員の扶養する遺児に対する手当は職員の扶養手当であると思われませんが、桶川市遺児手当とその目的が異なるものです。職員の扶養手当は、扶養親族を持つことに係る生計費の増大の負担を軽減し基本給の給料を補うことを目的として、桶川市職員の給与に関する条例に基づくものです。遺児手当は対象がご遺族であり、大切なご家族を亡くされ、その心情を深く受け止め、激励し、支給する手当と捉え、見舞いの要素を持って行っている事業と表現しました。桶川市遺児手当は、市単独、市独自の制度で、桶川市遺児手当支給条例に基づき、児童の生活の向上と福祉の増進を図ることが目的です。県内においても桶川市のみが20歳まで支給対象とし、所得制限もありません。これらを十分に踏まえ現時点では現行の制度を継続させていきたいと考えます。



桶川市の人口減少への対応について

保坂 輝雄

複合式

問 桶川市の将来の人口推計を伺う。

答 現在の約7万5千人から、2020年7

万4千人、2030年6万9千人、2040年6万4千人へ減少するとの予測です。

問 定住人口増加策として、「子育て

するなら桶川」のアドバランを打ち上げた後、具体的な子育て支援策を実行するというマーケティング戦略が必要だと考えるが、本市の見解は。

答 子育て支援策を含め、先進事例を参考にして検討します。

問 人口減少を受け入れ、人口減少に

対応して社会の仕組みやシステム自体を変えようという発想もあると思う。

そこで、自助・共助・公助のうち、共助の考え方を推し進め、市民の協力で行政サービスの低下を防ぐための仕組みやシ

ステムを再構築することを提案するが、どうか。

答 地域住民、社協、行政等の連携が図れるよう検討します。

問 人口減少については、早急な検討が急務であると考え

る。そこで、若手職員中心に全庁的な調査研究チームを設置することを提案するが、市長の考えは。

答 若年層の発想を含め、全世代の視点を取り入れることが重要だと考えており、今後、検討してまいります。

衆議院選挙の総括と今後の方向性について

問 昨年10月に実施した衆議院選挙の

本市の最終投票率と期日前の投票率を伺う。

答 最終投票率は約52.5%、期日前投票率は約22.4%でした。

問 期日前投票が全体の4割を超え、さらに重要性が増すと思うが、投票所は西側2カ

所のみで、東側にはない。国政選挙においては、

期日前投票所の増設等、拡充のための費用は国が

負担すべきだと思うが、市民要望に応じて期日前

投票所の拡充を図る場合、国とどのような調整を行

っていくのか、伺う。

答 一昨年の参議院選挙で桶川マイン

の期日前投票所増設の際、国が費用全額を負担しま

したが、今後、期日前投票所拡充のための費用を

国に要望していきます。

問 入場券裏面の宣誓書の記入により、

期日前投票の手続きが簡略化されたが、入場券が小さいとの苦情もある。

答 入場券を大きくする等の工夫はできないのか。

作成業者は現在、他の様式に対応してい

ないとのことですが、業者選定を含め、今後、検討してまいります。

一級河川江川の改修について

岩崎 隆志

複合式

問 上中流域の改修について伺う。

答 上流部は調節池の整備と河道を改

修する事業に平成27年度から着手しています。中

流部は河川の拡幅と掘削を基本とし、原則高築堤

は行わない、下流部だけ

に洪水リスクを負荷させないようするため、下

流部に洪水調節機能を確保し、中流部と下流部の

治水バランスを考慮した河川改修計画とすること

農地が持つ遊水機能を生

かした治水計画とする、とのこと。

問 下流域の改修が保留になっ

ている理由

答 平成3年に用地買収に着手し、当初計画の用地買収面積の約97%の用地を取得、平

成11年度には河道の掘削工事に着手しました。

しかし、平成9年に河

川法が改正され、治水、利水に環境を加えた河川

制度になるなど、社会的にも環境に対する意識が

高まりました。江川についても、治水事業の推進

と自然環境の保全との両立が課題となり、下流部

は、周辺の現況地盤を活用した河川改修とすべき

とされました。このため、埼玉県が計画の見直しを

行った後でないと、事業に着手できません。

上尾道路の整備に係る新御堂墓地の移転と江川交差部の4車線化の進捗状況について

問 薬師堂地区の共同墓地、新御堂墓

地の移転について伺う。

答 相続人が広範囲に点在し、個別交渉には着手できていないと伺っています。墓地関係者と大宮国道事務所の間で協議をしています

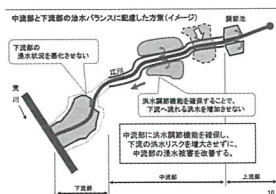
問 江川交差部の4車線化について伺う。

答 こちらでは希少動植物が確認されているため、大宮国道事務所が専門家、環境保護団体、地元代表者から成

る上尾道路環境保全対策検討会議を設置し、これまで約8年間の歳月をかけて検討を行っています。

現在は各委員からの意見を踏まえて、上尾道路江川地区における湿地保全計画の取りまとめ作業を行っていますと伺っています。このため、湿地保全計画がまとまり、計画に基づく環境対策が順次実行された後に行われるものと思われ

江川改修計画



一般質問の「一括式」は質問および答弁を一括して行います。「複合式」は1回目の質問および答弁は一括して行い、2回目以降を一問一答で行います。

桶川の「道の駅」進捗状況等

岡野 千枝子

一括式

問 桶川「道の駅」の進捗状況は。

答 現在、用地取得に向けて土地の価格等を算定するための土地評価業務委託や地質調査業務委託等を実施しています。

また、市が整備する地域振興施設の整備に向けて、民間活力導入可能性調査を実施しました。この委託の中で事業手法の整備、民間活力の導入手法や範囲、市場調査の結果を整理し、公設民営の場合と民間活力を導入した場合のライフサイクルコストの差、バリュー・フォー・マネーの検討を行いました。

これらを踏まえて、本市に合った整備や維持管理、運営等の事業手法について今後決定します。

問 国土交通省が行なっている高速道路をおりて道の駅に立ち

寄り後、一時間以内に再進入した場合、同様の料金制度となる。桶川でも適用されるのか。

答 現在、全国3ヶ所で実証実験をしています。現時点では、本市「道の駅」に同様の制度が適用されるのか不明ですが、PR効果や利用者増加につながる制度と認識していますので、情報収集等に努めます。

問 サイクリストの休憩場所や自転車のメンテナンス拠点等の専門性を出せないか。

答 サイクリストの休憩機能に対応した駐輪スペースやスタンドフックの整備を予定しています。

自転車のメンテナンス拠点等の専門性は、サイクリストの視点においては必要な施設とは認識していますが、設備や運営費等に大きく影響します

ので、費用対効果も含め今後検討します。

胃の健康度検査 ピロリ菌検査について

問 ピロリ菌保菌者の状況と、胃がん検査にバリウムを使用しているが、胃カメラ検査に移行する方向性を伺う。

答 受診者988人に対して298人がピロリ菌抗体検査・陽性となり、3人に1人という状況です。

また、胃カメラ検査の方向性は、平成28年の国の指針改正により50歳以上を対象に胃内視鏡検査が実施出来るようになりましたが、集団で実施する事が困難である為、個別検診方式に対応する事や内視鏡検査医師の認定した医師により読影に加え、全画像のダブルチェックを行う読影委員会の設置などがあり、現在、地区医師会と今後のあり方を相談しています。

一級河川江川の治水対策について

江森 誠一

複合式

問 上流部における調節池整備の内容と進捗状況について伺う。

答 調節池の内容ですが、桶川西中学校の南側で江川を横断する市道3213号線から市道1-4号線までの両岸において面積約8ha、調節容量12万m³の調節池を予定しています。進捗状況は平成29年度から用地買収に着手しており、買収率は95.7%となっております。

問 調節池を整備することによって廃道となる市道について伺う。

答 調節池整備に伴い廃道となる予定の市道は、桶川西中学校の正門近くで江川を横断している市道3179号線です。

問 市道3179号線が廃道となることにより、新たに調節池整備周辺の市道整備について上日谷地区、川田谷地区

より要望等も出ていると思うが、市道3178号線及び63-1号線の拡幅整備計画について伺う。

答 江川に平行する上日谷側の市道3178号線と桶川西中学校側の63-1号線の市道の調節池側に平らな土地があります。この為その部分を活用し、市道を拡幅できる様検討します。

問 市道3213号線の再整備計画について伺う。

答 桶川西中学校の南側で県が暫定的に嵩上げた市道3213号線ですが、調節池の整備により江川の計画断面に合わせて橋梁のほうも架け替えとなり、路面も更に高くなると伺っています。又、市が費用を負担し幅員も拡幅し、歩道を設置する予定です。

問 桶川西中学校の通学路でもある市

道1-4号線の橋梁架け替え及び歩道整備について伺う。

答 更に上流部の河道の改修に着手していく予定と伺っていますので、市道1-4号線の橋梁架け替えも必要となり西中へ通学する生徒の安全対策のため、歩道の設置も県との調整を図ってまいります。

駅西口広場への身障者専用乗降場所設置時期について

問 乗降場所の設置に向けた今後の取り組みと設置時期について伺う。

答 平成28年9月定例会でご提案頂きました。その後桶川タクシー有会社を始めとした事業者と調整し概ね了解は得ています。今後はタクシー協議会、上尾警察など実施にむけ協議を進めます。事業実施については、平成30年度に完了するよう取り組んでいます。

30年度に向けた事業に関する事項について

新井 孝雄

複合式

問 9月議会での企画財政部長の答弁では、所期の目的が達成されたものは整理統合していくとあった。予算編成上、事業の統廃合や縮小といった検討内容は。

答 大変厳しい財政状況にある中で、整理統合について検討を進めております。

問 来年度からは、相当厳しい財政環境だ。具体的な事業選定とか検討の方法についてどう考えているのか。

答 行政運営の柱となるような指針を30年度に定め、31年度に反映できるよう横断的な検討組織やワーキングチームの設置などを含め、検討を進めてまいります。

問 新庁舎での業務がまもなく開始され、また行政課題もある中で、来年度の市の組織の考え方は。

答 来年4月の組織改正に向けて検討しており、職員の育成、職責への傾注、ニーズへの迅速な対応の3つの観点で整理しております。経験豊富な職員的大量退職に伴う職員の若年化、組織年齢の変化による管理職層の減少、多様化する市民ニーズの把握や速やかな事業化など、変化に対応できる組織づくりを基本としています。

新庁舎整備による防災拠点の考え方と来庁窓口の一本化について

問 新庁舎建設の背景の一つに、防災対策拠点整備による事業推進があったが、その内容等考えについて。

答 新庁舎は、免震構造や耐火性能を有する構造となり、自家発電設備や太陽光発電による電源供給、雑用水の

確保機能等、万一の被災直後も継続して施設の運用が可能な設備を設けております。

また、災害全般に対応する災害対応実働の体制の一本化が可能となります。さらに、防災行政無線のデジタル化に向けて、30年度に電波調査等を行い、その結果に基づき、デジタル防災無線の整備を考えております。

問 新庁舎が5階建てになり、各窓口が設置されるが、利便性向上のためのワンストップサービスの考えは。

答 新庁舎は市の組織全体が入居することから、市民の皆様が多く利用いただく部署は、2階に集中して配置しております。また、1階エレベーター脇に総合案内を、2階のエスカレーター前には、コンシェルジュデスクを設け、案内をさせていただきます。そうした機能により、きめ細やかな対応をさせていただきますと思います。

桶川市の認知症対策について

岡安 政彦

複合式

問 認知症予防など桶川市で行われている認知症対策は現在どのような行われているのか伺いたい。

答 現在桶川市では認知症の方やその家族を支えるため、認知症ケアパスの冊子を作成し、認知症の方や家族に向けて相談できる機関や、認知症地域支援推進員を配置し個々の状況に合った支援につないでいるところがございます。また今年度から認知症初期集中支援チームを設置したところでございます。

問 認知症を早期発見するためには、認知症検診を実施してはどうか、伺う。

答 認知症の症状を発見し、医療機関での適切な受診につなげていくことが必要であると考えております。このことを踏まえ、市

として認知症検診を実施することは、早期治療に有効であると考えていますので今後医師会と実施に向けまして協議をしましてまいりたいと考えております。

かけがいのない命を守る自殺対策推進について

問 市ではゲートキーパー養成研修会を開催しているが内容について伺いたい。

答 ゲートキーパーとは、悩んでいる人の命を絶つ道へ向かわせないために、体調や行動などの変化に気づいて身の回りの悩みを聞いて必要な支援につなげる方のことをいいます。研修におきましては、社会福祉士や精神保健福祉士などの専門家の講師を呼びまして講演をしていただいているところです。

城山公園の取り組みについて

問 防災公園としての整備について伺いたい。

答 今後は城山公園に隣接し、防災機能を備えた道の駅と周辺施設とも連携しまして、防災公園としての機能の充実を図ってまいりたいと考えております。

問 SNSについての指導、また課題について伺う。

答 県内全ての公立小中学校を対象とした携帯電話に関する調査を実施し、トラブルに関する相談窓口を開設しているところでございます。SNS内の言葉の意味を判断することは、なかなか難しいといった面もあるかと思われます。今後も国や県の動向や情報を注意しながら、対応を検討してまいりたいと存じます。

坂田東西保留地について

相馬 正人

複合式

問 地域住民への説明会での反応は。

答 施設計画について、公共施設の内容や民間施設のテナント決定状況について質問を頂戴し、公共施設につきましては防災機能に関することや諸室の構成などについてお答えをしました。一方、テナントについては、大和リース株式会社より現在複数の出店候補者と交渉中であり、決まっていない旨の回答がありました。このほか公民連携手法に関する質問やテナントに対する要望などがございました。

問 遺跡見学をした子供たちの反応は。

答 児童による遺跡の見学会は、平成29年10月5日に実施しました。桶川東小学校の6年生の児童約120名が発掘現場を訪れ、実際の発掘の様子や縄文時代の堅穴

を実施しています。道路パトロール以外でも市職員が業務の中で異常を発見した場合には、随時道路河川課に連絡が入ります。また、沿道住民や道路利用者の皆様からも通報をいただき、異常を発見できることもあります。さらに、ことしの11月22日に、日本郵便株式会社と道路損傷等発生時における情報提供に関する協定を締結して、日本郵便株式会社の社員が業務中に市内の道路の異常や不法投棄物等を見つけた場合には、市へ情報提供をいただくことになりました。

市道の点検と修繕箇所について

問 日々のような点検を行い、修繕箇所を見つけているのか。

答 平日についてはほぼ毎日道路パトロール車1台に職員2名が乗車し、道路パトロール

を実施しています。道路パトロール以外でも市職員が業務の中で異常を発見した場合には、随時道路河川課に連絡が入ります。また、沿道住民や道路利用者の皆様からも通報をいただき、異常を発見できることもあります。さらに、ことしの11月22日に、日本郵便株式会社と道路損傷等発生時における情報提供に関する協定を締結して、日本郵便株式会社の社員が業務中に市内の道路の異常や不法投棄物等を見つけた場合には、市へ情報提供をいただくことになりました。

桶川駅西口再整備について

糸井 政樹

複合式

問 現在桶川駅東口整備が着々と進む中、西口でも図書館サービスの開始や羽田空港行きバスの運行など、市民サービスの充実が図られている。圏央道の開通により観光バスの発着が多くなっており、学校や企業の送迎バス、路線バスや市内循環バス等も増加しているが、状況について伺う。

答 昨年5月の平日2日間、西口駅前広場近辺での調査の結果、送迎バスについては学校等が7法人、企業が7法人の14法人を確認し、朝夕合わせ延べ178便でした。また路線バスは2社と、本市及び上尾市の市内循環バスが乗り入れており、平日1日当たり合わせて130便程度の運行があります。また、大型バスを利用する観光ツアーバスにつきましては延べ9台を確保

問 駅舎の整備と東西連絡通路を含む一体化について、市の計画と見解について伺う。

答 ご指摘のとおり中心市街地の活性化、また歩いて暮らせるまちづくりの形成を推進

する上で、東西の一体化を図り、機能の補完をしあいながら相乗効果を高めるには東西連絡通路と駅舎は非常に重要な施設と認識しています。東口における事業を着実に推進するとともに、その時期等を見きわめていきたいと考えています。

このバスは圏央道桶川加納インターを利用することから、東口発着の方が効率的であります。現在の西口スペースは暫定的なものと考えていることから、運用の変更等についてはバス事業者と意見交換を行って行きます。

ゴミの減量化促進について

問 しばらくの間、他の自治体にごみ処理を委託する上で、当市のごみ減量化の取り組みと成果について伺う。

答 事業者への啓発やゴミ袋の内容物のチェック、リサイクルの促進、小学4年生の社会科見学として環境センターの施設見学や中学1年生への出前講座等を行っています。分ければ資源、混ぜればゴミとなることから、市民の皆様にご理解いただき、さらなるゴミの減量化を図ってまいります。

国保の広域化で国保料の値上げは許されない

佐藤 正広

複合式

問 今回の広域化に伴う改定が国保税の引き上げになるのか、見通しを伺う。

答 仮設庁舎の用地を含む一帯はコミュニティ拠点と位置づけ、生涯学習、市民交流、子育て支援機能などを複合的に備えた施設整備について検討を進めます。

問 法定外繰り入れについて伺う。

答 一般会計の過度な負担とならないような形で国民健康保険制度の安定した財政運営に努めてまいります。

問 低所得者や子供の多い家庭への市の独自の保険税減免制度の実施はできないか。

答 桶川市の現状としては、県内平均よりも低いいため、現在は検討しておりません。

仮設庁舎の跡地利用の具体化を急いで

問 当地に必要な施設について市の考え方を伺う。

答 仮設庁舎の用地を含む一帯はコミュニティ拠点と位置づけ、生涯学習、市民交流、子育て支援機能などを複合的に備えた施設整備について検討を進めます。

問 近隣住民の意見をアンケートや意見交換会などの形で聞き取る考えはお持ちか伺う。

答 地域の皆様のご意見を拝聴しながら進めますが、現段階で検討開始の時期などをお示しできない状況です。

台風21号の被害を教訓に浸水対策の抜本的強化を求める

問 床上、床下浸水の家屋や敷地への再度の浸水を防ぐための具体的で恒久的な対策の早急な実施を求める。

今回の浸水を踏まえ、より早期に対応できるよう、災害協定団体である桶川市建設業協会とも連携を強化し、各地域の状況把握に努めていきます。

問 また、今回新たに冠水被害が確認された場所は、台風等大雨が想定される場合には、早期に対応を図ってまいります。

問 公共下水道の逆流による被害の再発防止対策を伺う。

答 老朽化の進んだ汚水施設の更新工事等を進めるのが効果的ですが、相当の期間と費用を要するため、再発防止としては難しい面があります。

問 洪水ハザードマップとは別個に、地域毎の詳細な浸水危険度マップの作成を求める。

答 今後の災害対策に生かしていくには必要と考えます。他の団体の状況等を研究したいと考えます。

エレベーター設置後の駅の姿は

星野 充生

複合式

問 9月30日に基本設計が完了し、資料によると2019年3月末エレベーター使用開始とある。エレベーターの設置予定場所は「見る観るコーナー」のあるところで、撤去せざるを得ない。自由通路内のどこかへ移動できないか。

答 作品展示のスペースの確保や作品に日が当たらないようにするなど、展示環境を整えることは困難な状況です。このため、市役所新庁舎内の市民ギャラリーなどをご利用いただくこととなります。

問 改札を出ると市の特産品が展示されている駅がある。駅改修を機に駅に展示できないか。

答 限られたスペースですので、今後必要な機能、設置の可能性など、検討してまいります。

教員の勤務改善、学校設備充実を

問 6月の一般質問で、ある教員の勤務実態として、4月16時間、5月120時間の時間外勤務であったことを紹介した。その後も100時間から130時間の時間外勤務との事。改善策は。

答 行事の見直しや会議の効率化を積極的に進めたり、ワークライフバランス推進会議を行い、教職員の声を業務改善につなげたりしております。

問 事務作業が負担になっていくという話も聞く。事務補助員を増やす必要があるのではないか。

答 国や県の動向、近隣市町の取り組み等、情報収集をしてまいりたいと思います。

近年LGBTに對する認識が広まってきている。小中学校トイレを改修する際に、「誰でもトイレ」の設置は検討されているか。

答 ご意見を踏まえ情報収集するとともに、実際に使用する子供たちにとってよりよいトイレになるよう検討してまいりたいと思います。

問 校の備品は壊れてから買い直している。一方、新庁舎は壊れていなくても一新する。この差は一体なんなのか。

答 執務空間の確保を、限りある中でやっていくためにいろいろ努力をさせていただきました。そんな形で、什器については新調させていただくという考えに至ったものでございます。学校の備品等につきましては、それぞれの施設の運営によって什器を新調したり、調達をするという考えでございます。

台風21号について

新島 光明

複合式

問 下日出谷地域の浸水（市道13号線通行止・周辺家屋浸水）は防げなかったのか。既存の下西調整池もナイアガラ滝同様の光景（写真参照）が最近起きています。下東・上南区画整理が終盤を迎える中、調整池建設の遅れ（上南2号調整池は15年遅れ）が原因ではないか、伺う。

の件は、荒川上流河川事務所と協議を行っています。



旧桶川飛行学校について

答 江川宮下樋管閉鎖に伴う水位上昇で生じたもので、回避できたか否かは大変難しいことと考えています。

問 整備計画では、策定等で既に1億5,000万円以上費やされ、文化財が強調される中、一説では最終的に10数億円との話もある。そこで本事業の基本的な考え方及び未来に負担を残さない為に、総体費用・維持管理費用及び費用対効果を伺う。

答 ポンプ場設置は引き続き県に要望します。又、ポンプ車待機

本事業は、飛行学校で学んだ若者の姿や当時の飛行技術に触れることで、あらゆる世代に平和を発信するも

のです。又、飛行学校建造物を文化財として復原するもので、費用対効果の算出はしていません。尚、平成26年策定の整備基本計画1案を基に約5億円を想定しています。

手話言語条例の理念及び目的の推進に向けて

問 聴覚等障害者へのサービスの推進のための窓口支援システムの導入を伺う。

答 先進地（飯能市等）の導入経緯・利用状況及び当事者の意見等を調査・研究します。

問 東日本大震災では聴覚障害者支援は届かなかった。その反省の上に「耳が聞こえない」「手話できます」と書かれたバンダナを配布する取組みが各市で行われている。当市での取組を伺う。

答 実施する自治体（県内21市町）を参考に、当事者の皆様とも検討していきます。

西側大通り線の渋滞緩和策について

島村 美貴子

複合式

問 西側大通り線と県道さいたま鴻巣線の交通量は。11月末、当該交差点における渋滞緩和、歩行者の安全確保を目的に、現況調査を実施しました。現在、調査結果を分析中です。

答 信号機の時間サイクル変更による対策が考えられます。上尾警察署交通課と協議したいと考えています。

問 現在、信号機の時間サイクルはどのようになっているか。

答 西側大通り線を南北、県道さいたま鴻巣線を東西とし、平日は南北が30秒、東西が50秒、土、日は南北が43秒、東西が45秒となっています。

問 西側大通り線の方が交通量が多い状況です。県道優先で県道の方が長く時間配分されているが、これまでも渋滞について質問している。早急に上尾警察と協議し、時間サイクルの変更をお願いしたい。

答 今回の結果を受けてまして、再度上尾警察と協議したいと考えています。

問 いずみの学園について

答 親子通園、単独通園の場合の療育時間について伺う。

問 いずれも午前10時から午後2時10分までです。

答 延長保育という制度がないと伺っているが、どうしても用

事がある場合はどう対応しているのか。

答 保護者等がお迎えに来るまでの間、いずみの学園送迎バスに約1時間乗車後、施設内で園児の保護を行い、保護者には、いずみの学園までのお迎えをお願いしている状況です。

問 バスに1時間乗る必要があるのか。バスも、一つの療育の訓練といった意味合いも含めて行っている状況です。

答 延長保育について検討したことはないのか。

答 県内でも、そのような事業を行っています。今後検討します。

問 老朽化が問題となっている。どのように検討しているのか。

答 建築後約40年を経過し、改修の時期を迎えつつあります。分室と一緒に運営することも現在検討しています。

水害対策について

加藤 ただし

複合式

問

台風21号・22号の被害から今後の対策について①床上・床下浸水や市道・県道の通行止めの対策は、江川、赤堀川等の河川改修が必要で国、県に強く要望して頂きたい。特に江川は、高校生が亡くなっている事実があるので、尊い命を無駄にしないよう早い改修をお願いしたい。

②下水道のマンホールから汚水が噴き上がり簡易トイレを配付する等の対策は、流末や処理機能向上等の改修を国、県に強く要望して頂きたい。また、汚物が噴き出る前にバキューム車で汚水のくみ取りを行う、噴き出る要因が下水道に雨水が入ることが大きな原因とすれば、本管から宅地の最終枘までの計画的な漏水対策が必要と考えるが。

答

①江川・赤堀川等の改修の推進に

ついて、流域関係市と共に国及び県に対し要望を

し、②下水道の対策は、計画的な調査や止水対策の維持修繕を行います。

東口整備について

問

①駅広・駅通りのインフラ整備に要する時間と手順②ことぶき広場の周辺整備の進め方について、伺う。

答

①事前に電気・電話・水道等の占有状況を把握し、電線を地中化するための管路工

事を行い、埋設管への電線の布設や各家庭との接続、電柱の引き抜き工事後に、舗装の仕上げ工事を行い、二、三年程度は必要です。

②地区内道路基盤等整備は早期の取り組みが必要と認識し、ことぶき広場周辺の地権者へ道路幅員

等の意向調査を実施し具体化して整備を進めます。

問

①9月議会でのH32年の供用開始する答弁を実行するのであれば、できるところから整備を進める必要がある。

②計画的に行う必要がある。如何か。

答

①一日も早い供用開始を目指すため順次インフラ整備を進めます。②意向調査後は、整備方針の決定をして、測量、設計業務を行い、警察等関係機関との協議を並行して進めます。

ホームドアについて

問

桶川駅は1日平均2万6,177人(H28年)

答

安全性の向上のため引き続き要望活動を展開します。

道路の災害対策について

仲又 清美

複合式

問

全国的に水道管が整備されたのは、1970年頃で水道管の耐用年数は、40年から50年、水道管の老朽化による道路陥没事故が心配される。

本市は、漏水や路面下の空洞化による道路陥没等の災害の恐れはないか。

答

道路陥没は、上水道管の老朽化による漏水の影響や地下構造物の埋め戻しで土砂が緩み沈下して発生します。道路陥没は、人や車両が転落するなど深刻な事故につながるケースもあると認識しています。

問

末広地域では、台風21号が去った後、同時に2カ所も路面に水が溢れ出る被害があった。台風の影響なのか、水道管の老朽化なのか。

答

台風で地下水等による水道管が漏水することは余り考えられません。老朽化したと

ころに衝撃が加わったもので台風とは別の影響と考えます。

問

平成28年11月、福岡市の博多駅前で大規模な道路陥没事故があった。その後、隣の上尾市は、路面下空洞化サンプル調査を行った。川口市は、地域防災計画の中に陥没等から命を守る緊急輸送道路等の路面下空洞化調査を明記する方向だ。本市は、サンプル調査の実施や地域防災計画に路面下空洞化調査を明記する考えはあるか。

答

桶川市地域防災計画への明記は、現状では、考えていませんが、レーダー探査機を使った路面下空洞化調査については、他市の情報収集に努めてまいります。

交通弱者対策について

問

市民要望の多い交通空白地域の交通弱者を救うには、べにばな号のルート見直しだけでは、個々の要望に応え切れない。タクシー事業者等、民間活力を利用できないか。

答

個々に焦点を当てた交通弱者への支援は、重要と認識しています。嵐山町では、タクシー助成事業があります。桶川に対比して、いろいろ財源等を考えていかなければと思います。

小学校に『さわやか相談室』の設置を

問

中学生に限らず、小学生も多様な相談件数が増えている。小学校にさわやか相談室の設置ができないか。

答

さわやか相談室を小学校に設置することは、学校の様子を直接把握し、児童の健全な成長と保護者を支援することができま。今後も検討してまいります。

投票率の向上に向けた取り組みと主権者教育について

新妻 亮

複合式

問 投票済み証を活用した市内のサービス状況を伺う。

答 数年前から市内のべにばなスタンプ協同組合加盟店に投票済み証を提示された方に対しては、べにばなスタンプカードのポイントを通常よりも多く付与する特典がございます。

問 期日前投票率向上のため、交通弱者の方のために移動支援などの取り組みが出来るか、伺う。

答 移動支援の取り組みについては、全国的に見ても導入事例は少なく、近隣自治体においても導入事例はございません。

移動支援の方法、対象者、費用等の課題があることから、他市の事例や近隣の動向を踏まえながら検討させていただければと考えております。

問 12月に行われた上尾市長・市議会議員補欠選挙では、上尾市選挙管理委員会が小学生の保護者に対し、児童生徒同伴による投票の呼びかけを行ったが、本市でも同様な取り組みが出来ないか、伺う。

答 公職選挙法の改正により、選挙人が投票所に連れて入れる子供の年齢が幼児から18歳未満に拡大したことから主権者教育の一環として、小中学生の保護者に対し、児童生徒同伴の上投票に行かれるよう協力の依頼をされたようです。当市も、他市の状況を踏まえ、対応できるものか、関係部局と相談の上、検討してまいりたいと存じます。

健康長寿と若年者層への歯科プロگرام導入について

問 総医療費と口腔機能の関係について伺う。

答 歯周病や虫歯は放置しておくとおもて脳梗塞や心筋梗塞、誤嚥性肺炎などを誘発し、歯を失うことにより認知症のリスクも高くなるという研究結果もございます。

歯の健康を保つことは、これらの疾病を予防することにもつながり、結果として医療費の支出を抑える効果があるものと考えております。

問 20歳の歯科健診の実施の有効性と可能性について伺う。

答 成人後、食生活が不規則になりがちで20代で何らかの口腔機能の問題のある方は多くなっている状況です。20歳になる節目に口腔内の健康状態を確認することは歯を失わず健康的な生活を送ることを意識する効果もあり、20歳での歯科健診は、実施に向けて検討してまいりたいと考えております。

新庁舎の免震基礎工事養生不足の柱は大丈夫か

北村 文子

複合式

問 建物の柱を支える免震基礎で、コンクリート養生不足の工事が行われた責任について、大成建設、日本設計の一筆はどうなったか。

答 現在、当該部分の工事につき、見解を求めています。まだ回答が来ていません。

問 何をしていたのか。免震装置の上の建物の柱は全部で何本あるのか。

答 柱は、全部で38本です。

問 そのうち、コンクリート養生不足の柱はどのくらいか。

答 議員指摘の本数は9カ所です。

問 9本が潜っていたら大変な建物だ。しかも、現場で強度の確認もしていない。市は管理責任を誠実にすべきだ。当日テストピースをとって試験を

答 する必要があると感じています。今後その責任を果たすべく、尽力したいと思います。

飛行学校委託の横山氏は1級建築士か

問 ものつくり大学の横山氏との契約は、基本設計と解体調査で約1億円を支払っている。1級建築士なのか。

答 1級建築士ではありません。

問 1億円の契約には、1級建築士の立場でない計算ができないものがあるのでは。

答 ものつくり大学と契約しており、その部分は他の教授が担っています。

問 それは違う。契約書は横山研究室とはっきり書いてある。整備に5億円との答弁があるが、借金を何年かけて払っていくつもりか。

答 10年から20年の間を考えています。

問 仮に人件費、光熱水費等と10年の借金返済で、年1億円も使う状況は財政を圧迫する。それほど市民が望んでいる施設とは思わない。

答 市としては、後世に残し伝えていかなくてはならない施設として、整備しようとして進んできています。

道の駅の建物に13億を出すつもりなのか

問 県の情報公開で、BTO（市が民間に建てさせ、桶川市が買い取る方式）なら、土地収用法の対象になるとある。市が建てたと同じことになるが、約13億を出すつもりなのか。

答 建設費用等必要な部分は、市の負担にしなければと考えています。

閉会中の委員会活動

委員会報告

民生経済常任委員会

10月5日・宮城県名取市

「ロク ファーム アタラタ（6次産業化）」

当施設は震災を機に、異業種のプロ達が行政の補助金等を受けず、民間発の大型復興関連事業で整備しました。雇用の創出にも貢献し、道の駅的な施設でしたが、心が通う温かなコンセプトは本市のまちづくりにも大変参考となりました。

10月5日宮城県角田市

「福祉窓口のワンストップ化」「認知症になっても笑顔で過ごせるまちづくり（包括支援事業等）」

角田市の福祉部門で窓口のワンストップ化が図られ、市民が「たらい回し」と感じない業務のあり方や、マニュアル作り等の対策を継続して取り組んでおり、本市の新庁舎建設は、総合的な「窓口のワンストップ化」

の好機とも捉えられました。また、認知症サポーター養成講座の参加者が市民3万人のうち1割を超え、小・中学生も対象でした。さらに65歳以上の認知症の方に、専用QRコードシールを販売し、身元確認を容易にする活動をしており、本市の包括支援事業の構築にも役立つものでした。

10月6日宮城県亘理町

「亘理山元商工会」「農家レストラン旬菜館」

亘理町の商工会は隣接する山元町と合併し、「特産品開発」「新たな加工品開発」「ブランドづくり」など、ぶどう・いちご・トマト等の加工品開発を行い、商工業者の育成に力を入れ地域振興に貢献しています。

農家レストランは地元の

方々が地元食材で作る手料理で、地元の味を守り続け、季節ごとの食材を使い、味を発信し続けております。

宮城県の商農工連携は震災からの復興の原動力として、6次産業化の取り組みを強化しております。経済の発展と地域の活性化を進める

事例として本市としても大変刺激になる視察でした。

建設文教常任委員会

10月3日・長野県塩尻市

「学校給食公会計の導入について」

塩尻市では、小・中学校の学校給食の会計が、学校ごとに教職員を中心に、給食費の徴収や管理、給食食材の購入などを行ってきた「私会計」から、市で一括して行う「公会計」に移行しています。

塩尻市の場合、支払い事務や未納者対策に15校の校長や教頭、担任、PTAが関わっていたところを、職員3名の増員と年間約310万円の予算増で賄えた点、収納率がアップした点、保護者

にとっても利便性が向上する点や市の一般会計によって食材費予算が確保されるため、未集金の有無に関らず支払いが可能になった点から、公会計化へのメリットは大きいものと感じました。

教員の過労が問題視され

ているなか、月3〜4日分の事務業務量がなくなり、生徒指導など教員本来の業務に傾注できることから、本市においてもぜひ公会計化について積極的に検討してはどうかと考えます。

10月4日・長野県須坂市

「須坂長野東インターチェンジ周辺地区地区計画について」

須坂市では、市街化調整区域におきまして、地区計画を利用したまちづくり制度が導入されています。

本市は、桶川北本インターチェンジ、桶川加納インターチェンジがあります。また、道の駅開発計画もあり、インターチェンジ周辺地区計画には、市の財政の増加を期待する点が多くあります。

須坂市における農地転用の難しさや民間活力導入や地権者・住民の説明などの問題点を解決し、完了するまでの経緯などを参考にし、本市のインターチェンジ周辺・道の駅開発に活かしていきたいと考えます。

議会運営委員会

11月6日・岩手県北上市

11月7日・岩手県一関市

「議会改革への取り組みについて」

北上市では「市民と議会をつなぐ会」を開催しています。実施方法には地区別とテーマ別の2つがあり、地区別では議員を4班に分けて公民館などで実施しています。テーマ別では、常任委員会ごとに関連団体と実施しています。実施後は、対応を協議し、市当局へ送り、その回答により最終報告書を作成し、その後の議会活動に活用しています。

その他にも議会運営について広く市民に意見を求める「議会モニター制度」や、常任委員会が年間を通して活動できる環境を整えることを目的に通年議会を平成27年12月から導入しています。

今回北上市を視察し、活発な議員間討議や常任委員会のさらなる活動、執行機関との実のある質疑応答等、

議会基本条例の制定も不可欠であると思いました。

次に、一関市では、「市民と議員の懇談会」を開催しています。議員を5班に分けて「自由参加の部」や「団体参加の部」として実施しています。編成に際しては、各常任委員会や議会運営委員会及び議会報編集委員会の委員は必ず1名は所属させることになっています。

特徴としては、聞きっぱなしにするのではなく、意見や提言を精査し、全議員に諮った上で、市、県、関係団体などに要望書の提出を行っているところです。

一関市の議会改革最大の特徴は、議会基本条例に基づいて行っていることです。「市民と議員の懇談会」をはじめ、議会基本条例のもとに実施される様々な取り組みを議員が担うのは当然との雰囲気を感じられ、本市としても大いに学ぶ点があったと思います。

今回の視察が有意義な議会改革に結びつくように教化できればと感じました。

第14回議会報告会を開催しました



総務・民生経済・建設文教の3常任委員会に分かれ、それぞれテーマを設定し、参加された市民の方と活発な意見交換を行いました。



現役時代に巨人、中日で活躍された仁村薫氏による特別講演の様子です。プロ野球界で得られた経験や子育てについてのお話しをお聞きました。

アンケート結果等は市議会HPでご覧いただけます。

桶川市議会ホームページアドレス <http://www.city.okegawa.lg.jp/gikai/index.html>

次回の議会報告会の開催予定について

次回の議会報告会は、平成30年3月定例会での予算審議の内容などについて、平成30年5月頃実施する予定となっております。詳細が決まりましたら改めてお知らせをさせていただきます。

平成29年11月19日（日）に桶川東公民館で開催をし、多くの方にご参加いただきました。第一部として元プロ野球選手の仁村薫氏による特別講演、第二部として総務・民生経済・建設文教常任委員会に分かれての意見交換会を実施しました。

定例会のお知らせ

3月定例会は平成30年2月23日（金）9時30分開会、会期日程は以下の予定です。
（※議長の公務や事業等の都合により変更する場合があります。）

〔会期日程（案）〕

2月23日
2月26日
3月1日・2日・5日
3月6日
3月7日～9日
12日・13日
3月14日・16日
19日・20日
3月22日
3月26日
3月27日

開 会 日
本 会 議
常任委員会
本 会 議
常任委員会
一 般 質 問
本 会 議
本 本 会 議
閉 会



◆12月議会本会議傍聴者数

月 日	男	女	計
12/8	0	2	2
12/18	0	0	0
12/19	5	3	8
12/20	8	7	15
12/21	8	6	14
12/25	0	0	0
合 計	21	18	39

声の市議会だよりのご利用を

桶川市議会では、ボランティアの皆さん（紅花の会）のご協力により「声の市議会だより」としてCDを作成しています。利用を希望される方は、議会事務局までご連絡ください。

編集後記

市議会議員選挙から早2年が経ちました。議長をはじめとする役職が改選となり、議会だよりも新たな構成委員が決まりました。

今年は5月に新庁舎への移転が予定されており、議会も議会改革の一環として、議会中継、録画の配信や、タブレットの導入を検討しています。それに併せ、紙面もより分かりやすく、紙面もより研究して参ります。

市民に開かれた議会を目指し、表紙に輝く子供たちの笑顔が未来まで続くよう、より一層努力していく所存です。（島村）

議会だより編集委員会

委員長 島村美貴子
副委員長 岡安政彦
委員 北村文子
委員 星野充生
委員 新妻亮
委員 加藤ただし
委員 岩崎隆志
委員 佐藤洋